

2015年11月05日

「CDP 気候変動 2015」気候変動情報開示先進企業に 3年連続日本企業トップのスコアで選定

住友林業株式会社（社長：市川 晃 所在地：東京都千代田区）は、気候変動情報開示において、CDP※1から高い評価を受け、CDPジャパン500クライメート・ディスクロージャー・リーダーシップ・インデックス（以下、CDLI）に3年連続最高得点で選定されましたのでお知らせ致します。昨年度に引き続き、今年度も100点満点を獲得しています。



CDPはFTSEジャパンインデックス※2該当企業を基本とする日本の大手企業500社（以下、ジャパン500）を対象に気候変動に関する情報開示を求める調査を毎年実施しており、回答企業のうち、上位10%を気候変動情報開示先進企業としてCDLIに選定しています。

これからも「住友林業グループは、再生可能で人と地球に優しい自然素材である「木」を活かし、「住生活」に関するあらゆるサービスを通じて、豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念のもと、社員一丸となって事業を通じた環境の維持・改善に取り組んでまいります。

※1 CDPについて

CDPは、企業や都市の重要な環境情報を測定、開示、管理し、共有するための唯一のグローバルなシステムを提供する国際的な非営利団体です。CDPは、企業が環境や天然資源に及ぼす影響を開示するように、またその影響を軽減する対策を取るように、合計95兆米ドルの資産を持つ822の機関投資家を含む市場経済とともに働きかけています。CDPは現在、気候変動、水、森林に関するリスク商品情報のグローバル最大の一次データを有しており、これらの知見をビジネス、投資、政策の戦略的な意思決定の場に提供していきます。

Webサイト：www.cdp.net / ツイッター：@CDP

※2 FTSEジャパンインデックスについて

ロンドン証券取引所が100%出資するインデックス構築企業FTSE社が提供する、世界的に信頼性の高い外国株式インデックスの日本版です。

以上

«リリースに関するお問い合わせ先»
住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 森永・佐藤
TEL：03-3214-2270